

第2回GIS実践講座報告

2006年3月24日
NPO法人電子自治体アドバイザークラブ

1. 第2回GIS実践講座の内容

日時: 平成18年3月24日(金) 12:45 ~ 17:00 会場: 奈良大学(コンピュータ室)

セミナー: 13:15 ~ 13:40

「GISの発展とGIS技術資格」(奈良大学文学部教授 碓井照子氏)

【概要】

GIS先進国である米国では、1990年にGISコアカリキュラムを公開し、世界中のカリキュラムのモデルとなり、1996年に、GIS教育に関する取組が盛んになりました。日本においても、GIS教育とGIS資格制度の導入を進めています。国土空間データ基盤整備(NSDI)のために地方自治体で、統合型GISの導入が始まっています。人材不足と電子調達におけるGIS技術の評価制度が必要になり、その制度を解説します。



【碓井照子氏のプロフィール】

奈良大学文学部地理学科教授 / 日本測量協会 GIS 研究所所長 / 前 GIS 学会会長・GIS 技術資格委員長、日本学術会議会員、国土交通省 GIS 整備推進検討委員会委員、ISO/TC211 国内委員会委員、経済産業省 G-XML 検討委員会委員等を歴任。空間データモデル、GIS データベース、GIS システム設計等を主な専門とし、更に自治体 GIS や防災 GIS、都市計画 GIS、考古学 GIS、農業政策 GIS、環境 GIS 等の応用分野も積極的に研究。

体験・実習：

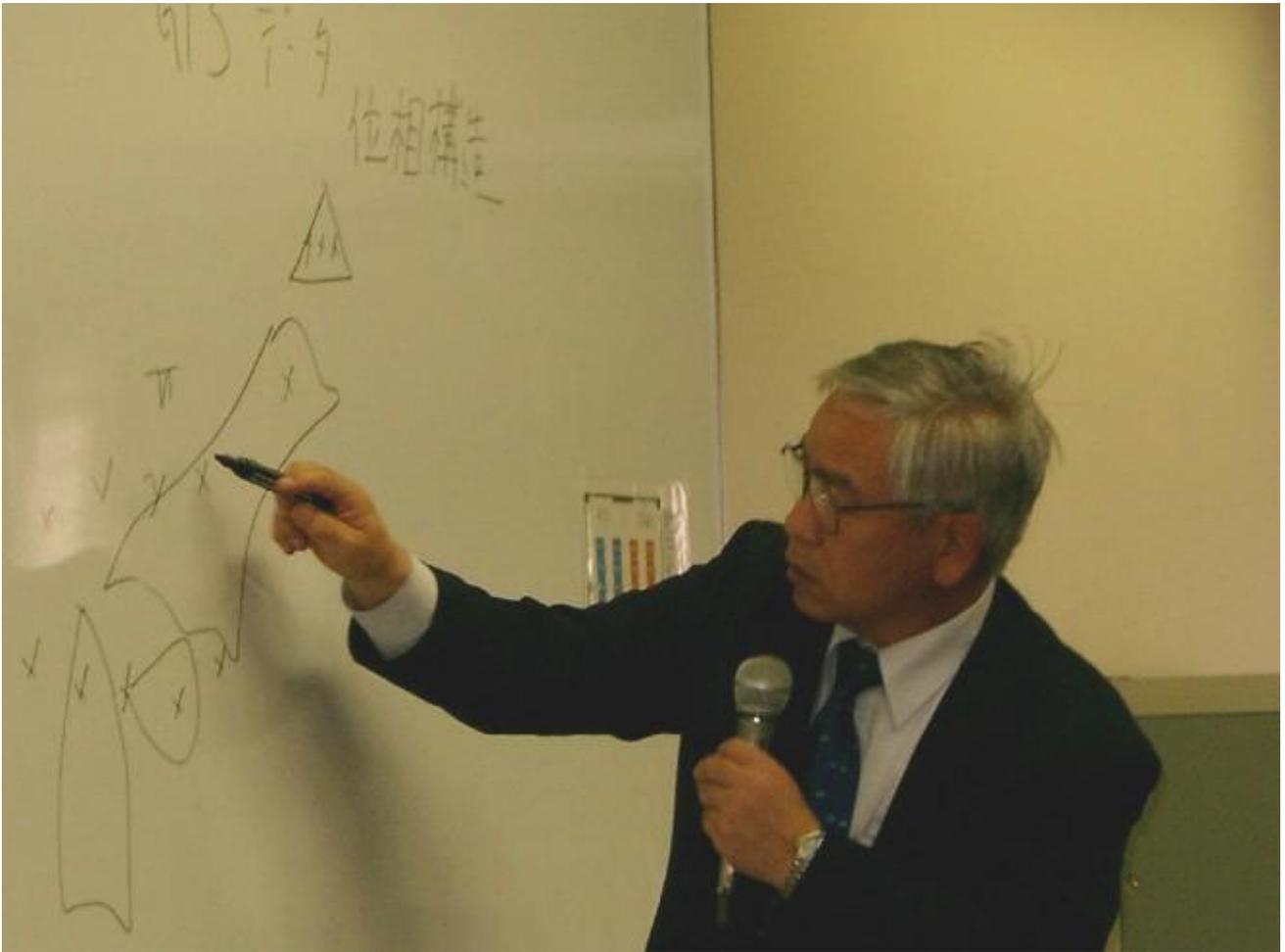
13:40 ~ 17:00

『基準点管理システム』（日本測量協会 GIS 研究所 主任研究員 平田更一氏）

1. 位置参照点の紹介
2. データのインストールと地図データのセットアップ
3. システムの操作

【概要】

基準点管理システムのインストール、既存データのダウンロードを行い、新たに観測した基準点データの登録、すでに登録されているデータの修正、さらに基準点データを用いた位置参照の利用法について実習を行います。正確な基準点のデータを管理することにより、GIS の利用から新しい GIS 整備の方向性が見えてくるものと確信している。



【平田更一氏のプロフィール】

1988年から2005年まで、株式会社パスコにてGISのアプリケーション開発に従事。この間、1995年から地理情報の標準化を進めるISO/TC211へエキスパートとして参加、データの品質に関するDraft作成に従事した。2005年4月から社団法人日本測量協会に勤務。北海道大学、北海道工業大学、東京情報大学の空間情報工学に関する非常勤講師を勤めてきたが、現在は信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター客員教授。

2. 出席者状況(人数)

第2回 GIS 実践講座		内訳			
		自治体	企業	建築・測量	一般
参加申し込み総数	60名	14	15	10	21
事前キャンセル	11名	2	3	3	3
当日欠席	5名	0	2	1	2
出席総数	44名	12	12	6	14
講師 / アシスタント	2名 / 5名				

3. 所感

先月度の第1回 GIS 実践講座では、広い分野、および幅広い年齢層からの参加者であった。今回も同様の傾向が見られた。奈良県内だけでなく、県外からも8名参加していた。情報化の進展に伴い、地図データのニーズが広がり、今回の6回シリーズの集中講座は、そのニーズに応えるものと思われる。

「GISの発展とGIS技術資格」(奈良大学 碓井教授)

GISに関する人材の育成が必要であり、その資格に関して、国際的に通用する資格を目指し、GIS関連学会連合とGIS技術資格組織が設立されるとのこと。GISにおいて、地方自治体やGIS企業においても、GIS Professional が必要になる時代が来ると予想される。また、外国では、GIOという職務があり、日本でも、将来CIOのもとで、GIOの役割が認知されてくるものと思われる。

「基準点管理システム」(日本測量協会 平田更一氏)では、

位置参照点システムの扱いについて体験・実習が行われた。このシステムは、大阪府が参画して、官民学合同で地図情報の官民共有化手法の検討において、位置参照点(基準点)情報を活用することにより、測量コストの軽減、GISデータの精度向上を実現できることから、国及び各自治体が管理する基準点情報をGIS上で表示、閲覧できるシステムとして利用されている。簡便に、無料で使えるため、初期導入システムとして適していると思われる。

4. 第2回 GIS 実践講座の受講風景

(写真 [2](#)、[-3](#)、[-4](#)、[-5](#)、[-6](#)、)

(交流会 [-1](#)、[-2](#)、)